

みんなのなりた

NO. 98 2019年11月1日

発行／成田市議会
編集／成田市議会広報広聴委員会
〒286-8585 成田市花崎町760
Tel 0476-20-1570(直通)
Fax 0476-24-0336

令和元年9月定例会



午前の部 10:00
午後の部 18:30
成田市役所

主な内容

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 2 9月定例会ハイライト | 7 議案と審議結果一覧 |
| 3 常任委員会審査レポート | 8 一般質問 |
| 4 決算特別委員会審査レポート | 15 市議会フォーカス「議会基本条例」 |
| 6 特別委員会審査レポート | 16 議会報告会の開催について |

「議会報告会を開催します」

11月8日(金)に議会報告会を開催します。
今年は、初めて議場を会場に委員会報告を行いますので、是非ご参加ください。当日は、参加された皆さんと意見交換も行います。
→詳しくは、裏表紙をご覧ください。

成田市議会からのメッセージ

定例会審議から、くらしにかかわる可決議案、報告などをピックアップします

9月定例会ハイライト

決算議案を含む 34議案を可決・同意・認定

一般会計補正予算、手数料条例の一部改正など

令和元年9月定例会は、8月30日に招集され9月26日まで28日間の会期で開催しました。定例会の初日には、31議案が上程されました。

9月3日には、決算関係議案を審査する決算特別委員会が設置されました。

一般質問は、9月3日から4日間、19人の議員が登壇して行われ、6日には議案1件を同意しました。9日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案30件と追加議案2件および発議案1件を原案どおり可決・認定し、また、請願2件のうち1件を不採択、1件を趣旨採択し、閉会しました。

【9月定例会の日程】

月日	内容
8月30日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
9月 3日(火)	本会議(一般質問)
4日(水)	本会議(一般質問)
5日(木)	本会議(一般質問)
6日(金)	本会議(一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託)
9日(月)	新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会 建設水道常任委員会
10日(火)	空港対策特別委員会 教育民生常任委員会
11日(水)	経済環境常任委員会
12日(木)	議会運営委員会 総務常任委員会
17日(火)	決算特別委員会
18日(水)	決算特別委員会
19日(木)	決算特別委員会
26日(木)	本会議(会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)

国に意見書を提出しました

「台風15号の被害に対する支援を求める意見書」

9月26日の閉会日に、国に対して、台風15号の被害に対する支援を求める意見書を提出する議員発議がされ、全会一致で可決しました。

9月9日未明に襲来した台風15号により、多数の倒木、崖崩れ、停電、断水等が発生し、家屋をはじめ農作物、農業用施設、公共施設等にもさまざまな被害が生じ、成田市内に大きな爪痕を残しました。

今後は、全市を挙げて、被災者の生活や産業の再建等に向けたさらなる取り組みを進めていくため、国に対して次の5つの事項について要望し、意見書を提出しました。



1. 激甚災害^{げきじん}に対処するための特別の財政援助等に関する法律に基づく激甚災害の早期指定を行うこと。
2. 住宅の一部損壊に対する支援の拡充を図ること。
3. 農作物被害や農業用施設被害に対する支援の拡充を図ること。
4. 復旧・復興に財政上の支障が生じることのないよう、特別交付税の増額などの財政措置を講じ、積極的な財政支援を行うこと。
5. 大規模な停電が長期化した要因と情報提供のあり方について検証するとともに、今後の改善策について検討し、必要な対策を行うこと。

意見書とは

地方公共団体の公益に関することについて、国政に反映させるため、議会の意思を意見としてまとめた文書のこと。

委員会審査レポート



※本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要および報告された内容の一部を要約して紹介します。

総務常任委員会

一般会計補正予算、市有財産の無償貸付け

議案6件をいずれも可決し、請願1件を不採択としました。所管事務について、4件の報告を受けました。

一般会計補正予算では、台風15号による災害への対応として、被災者に対する災害見舞金支給のための経費および災害救助法に基づき被災した住宅の応急修理のための経費公共施設の復旧に要する経費として648万円、倒木等の撤去および崩壊した市道の法面復旧工事に要する経費として5,650万円、被害を受けた運動施設等の復旧工事等に要する経費として4,460万円など、災害復旧費として3億2,542万2千円の増額となり、補正後の予算額は630億6,505万2千円となります。

市有財産の無償貸付けでは、こみかど小御門小学校跡地利活用事業として、公募により選定された事業者により、気温や湿度が管理された教室や体育館で、土壌を使用せず水やLED照明等により、レタスなどの葉物野菜を生産する事業「人工光型植物工場」が整備されます。



人工光型植物工場のイメージ

教育民生常任委員会

大栄幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正、印鑑条例の一部改正

議案5件をいずれも可決しました。所管事務について、3件の報告を受けました。

10月1日からの幼児教育・保育の無償化に伴い、大栄幼稚園の保育料を無料とし、また保育を必要とする認定を受けた保護者の預かり保育料を、利用日数に応じた額を上限に控除します。

印鑑条例の一部改正では、旧氏での印鑑登録を可能とするとともに、性的マイノリティーに配慮し、印鑑登録原票および印鑑登録証明書から男女の別の記載が削除されます。また、印鑑登録者本人が官公署発行の顔写真つき身分証明書等を提示して、印鑑証明書の交付申請を行った場合には、印鑑登録証の提示を省略することができるようになります。

経済環境常任委員会

共生社会ホストタウン^(注1)の登録、浄化センターの再整備

議案3件をいずれも可決しました。所管事務について、5件の報告を受けました。

成田市では、これまでのアイルランドのパラリンピック水泳チームのトレーニングキャンプの受け入れや市民交流事業、宿泊施設のバリアフリー化改修に対する補助金制度の創出、市民向けのパラリンピック講演会やパラスポーツの体験会の開催などの取り組みが評価され、8月30日に、千葉県内で初めて共生社会ホストタウンに登録されました。

浄化センターは、昭和62年の供用開始から32年が経過し老朽化が著しいため、再整備に向けて令和元年度に基本計画、循環型社会形成推進地域計画を策定し、令和2年度以降に、基本設計・生活環境影響調査、令和4年度から、実施設計を含め、建設工事に着手し、令和6年度の完成、供用開始を目指しています。新たに整備する施設は、搬入された有機廃棄物などを、脱水機により液体と固体に分け、排出された固体は助燃剤や肥料などにする資源化設備をあわせ持つ汚泥再生処理センターとして整備されます。

(注1) 共生社会ホストタウン…パラリンピアンとの交流をきっかけに共生社会の実現のため、ユニバーサルデザインの街づくりや心のバリアフリーの取り組みを行う自治体。

建設水道常任委員会

市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正

議案8件をいずれも可決しました。

平成26年度にJR成田駅西口において、試験的に自転車通行空間を設置し、マナー向上や交通事故軽減の効果が確認されていることから、今後も自転車通行帯の整備を推進していきます。自動車および自転車の通行量の多い道路には、原則として車道の左寄りに幅1.5メートルの自転車のための通行空間となる自転車通行帯を設けるとともに、自動車の速度に関する要件を追加します。



JR成田駅西口の自転車通行空間



委員会審

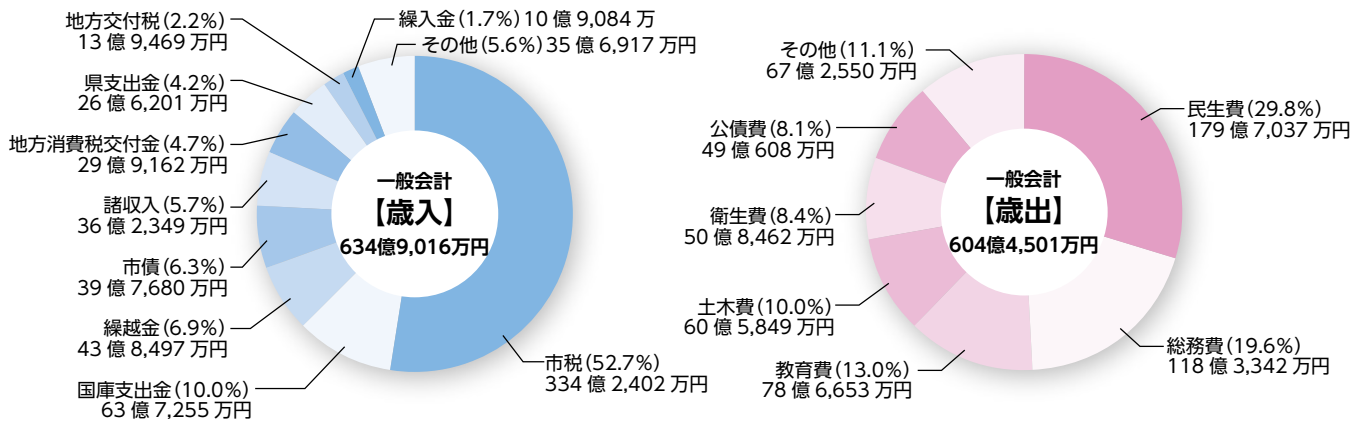
決算特別

平成30年度決算関係9議案を可決

9月定例会では、平成30年度決算関係9議案を審査するための決算特別委員会(委員12人)が、9月3日に設置され、17日から19日までの3日間にわたり審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

委員長	飯島 照明	委員	小高 夕佳	葛生 孝浩	大和 義己	藤崎 勇一	会津 素子
副委員長	鳥海 直樹		一山 貴志	神崎 勝	海保 茂喜	神崎 利一	石渡 孝春

一般会計



一般会計【歳入】 主な内訳

予算現額640億5,741万8,043円に対し、決算額は634億9,015万9,564円、前年度比で3.8%のマイナスです。主な内訳として、市税では決算額334億2,402万1,620円、平成29年度比0.4%のプラスで、個人市民税および法人市民税において景気の緩やかな回復などによる増収が主な要因です。地方消費税交付金では決算額29億9,162万2,000円、平成29年度比9.7%のプラスで、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、建設需要や設備投資が活化したことなどが主な要因です。地方交付税では、決算額13億9,469万円、平成29年度比24.9%のマイナスで、市町村合併の特例措置として交付されている普通交付税の段階的な縮減が主な要因です。

一般会計【歳出】 主な事業

ケーブルテレビ視聴エリア拡大事業(1億3,941万円)、コミュニティバス運行事業(1億5,446万円)、中郷小学校跡地整備事業(2億810万4,000円)、まちづくり戦略推進事業(1,944万円)、国家戦略特区推進事業(7億5,820万2,000円)、障害者地域生活支援事業(8億405万5,000円)、オンデマンド交通高齢者移送サービス事業(7,198万6,000円)、保育士確保・処遇改善促進事業(6,960万円)、地域医療対策事業(4億2,743万9,000円)、母子保健事業(1億4,156万1,000円)、農道整備事業(9,658万4,000円)、成田ブランド推進戦略事業(9,072万5,000円)、橋りょう補修事業(6億7,623万6,000円)、ニュータウン中央線整備事業(13億6,602万5,000円)、大栄小中一体型校舎建設事業(1億4,981万円)

平成30年度決算額

会計名	歳入	歳出	差引額
一般会計	634億9,016万円	604億4,501万円	30億4,515万円
国民健康保険	131億6,395万円	129億1,389万円	2億5,006万円
施設勘定	1億886万円	1億58万円	828万円
下水道事業	20億375万円	12億4,289万円	7億6,085万円
公設地方卸売市場	5億4,298万円	5億250万円	4,048万円
介護保険	70億9,336万円	68億9,918万円	1億9,419万円
農業集落排水事業	1億7,905万円	1億7,470万円	436万円
後期高齢者医療	10億9,505万円	10億7,678万円	1,826万円
合計	876億7,716万円	833億5,553万円	43億2,163万円

	区分	収入	支出
水道事業会計	収益的収支	20億5,301万円	18億8,242万円
	資本的収支	4億3,363万円	11億4,573万円
簡易水道事業特別会計	収益的収支	3億4,703万円	3億4,565万円
	資本的収支	1,820万円	1億2,667万円

※数値は万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない箇所があります。

査レポート

※本会議で委員会に付託された
主な議案と審査内容の一部を
要約して紹介します。

決算を Check!

委員会



9/6 本会議

決算特別委員会へ

議案を付託

9/17、18、19 決算特別委員会

議案の説明



質疑



委員がした質疑のうち 主なもの

歳入

Q 平成30年度の市税の不納欠損^(注2)額が、平成29年度と比較して約半分に減少した理由は。

A 不納欠損の件数が平成29年度の1,511件から平成30年度は1,145件となったこと、また、1件当たり300万円を超える件数が平成29年度の6件から平成30年度は1件となったことなどが、減少した理由と考えている。

民生費

Q 保育士確保・処遇改善促進事業における、保育士処遇改善費補助金の効果は。

A 保育士処遇改善費補助金、いわゆる「なりた手当」は毎月の給与の上乗せと勤続年数に応じた一時金で、両者の支給対象となる保育士が増えていること、また、支給を受けた保育士にアンケートを実施したところ「これからも成田市で働きたい」という声が多くあったことなどから、効果があったと考えている。

土木費

Q 建築物耐震化促進事業について、予算額が約510万円に対して、決算額が約168万円と差があるが、その主な要因は。

A 住宅耐震診断補助金の見込み12件に対し、実績が4件、住宅耐震改修補助金の見込み6件に対し、実績が2件と、相談等はあったものの実績に結びつかなかったためと考えている。今後もさらにホームページ等で周知に努めたい。

総務費

Q 自主防災組織整備事業について、自主防災組織の結成状況と災害時の連携方法は。

A 平成30年度に8組織、令和元年度に4組織が新たに結成され、現在は130組織、組織率は約45%となっている。災害時には、自主防災組織、消防団、民生委員等、さまざまな方々と情報共有を行いながら対応していく。

商工費

Q 観光PR事業について、観光キャラクター「うなりくん」を活用したプロモーション活動の実績と、今後の考えは。

A これまで県内外のさまざまなイベントへの出演を行っているが、ゆるキャラグランプリ2017で第1位を獲得したことにより、R-1グランプリへの参加、YouTubeの生配信、エコ年賀はがきの作成など、活動の幅がさらに広がっている。今年は「うなりくん」が成田に来てから10周年、それを記念した企画も行っており、今後も継続して活動の幅を広げていきたいと考えている。

討論・採決

可決

9/26 本会議

採決

可決

委員長報告・討論



(注2) 不納欠損…回収の見込めない市税などの徴収金。



委員会審査レポート

※本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要および報告された内容の一部を要約して紹介します。

空港対策特別委員会

(仮称)実施プランの進捗状況、さらなる機能強化の進捗状況等

●(仮称)実施プランの進捗状況

平成30年3月の四者協議会においてまとめられた成田空港周辺の地域づくりに関する基本プランをもとに、より具体的な地域活性化策を盛り込んだ(仮称)実施プランを策定するため、四者協議会の事務局である千葉県が、地域ニーズ調査、企業立地アンケート調査、空港内滞在時間調査等を行いました。(仮称)実施プランの計画期間は、年間発着回数50万回となる2030年代までとなる見通しで、地域活性化策については、短期的に実行できる取り組みと中長期的に検討を進めるべき取り組みに整理し、課題解決に向けた方針や実施時期について調整するとのことでした。

●さらなる機能強化の進捗状況等

さらなる機能強化のスケジュールとしては、現在は航空法の変更許可手続に向けて、空港の拡張予定地となる敷地の地権者への説明および同意書の取得を進めるとともに、環境アセスメント^(注3)の手続を今進めているとのことでした。なお、空港拡張予定地の92%の土地について、見通

(注3)環境アセスメント…大規模な事業を実施する際に、事業者があらかじめ環境に与える影響を予測・評価すること。

しが立ちつつあるとのことでした。

航空機騒音健康影響調査については、学識経験者等で構成される第三者委員会において、来年度以降に予定されている本調査に先立ち、5年前の前回調査からの経年変化等の検証を目的とした事前調査が、9月1日から10月15日まで実施されているとのことでした。

また、成田空港における深夜利便性の向上については、10月27日からの冬ダイヤから開始される夜間飛行制限変更に伴う路線誘致のほか、空港内の店舗の営業時間を最終便の出発までの時間まで延長するとともに、空港への深夜アクセスの確保について説明がありました。

●その他

平成30年度成田国際空港周辺航空機騒音測定結果(年報)、A滑走路における夜間飛行制限の変更に係る対策、令和元年度北側^{キョク}脚^カ下げ実態調査の結果、カーフューの弾力的運用の実施状況および防音工事^{マ音}済住宅^{ケイ}の経年変化調査について報告がありました。

新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会

施設整備の進捗状況、高機能物流棟事業者募集の状況等

議案1件を可決しました。所管事務について、1件の報告を受けました。

●施設整備の進捗状況

現在、調整池^イ築造工事および敷地外周に擁壁を設置する造成工事を進めており、調整池^イ築造工事については10月31日まで、造成工事については12月25日までの工期とのことでした。

また、本体棟新築に係る建築工事・電気設備・機械設備工事については、6月26日に請負契約を締結し、工事の準備を進めているとのことでした。

●高機能物流棟事業者募集の状況

4月下旬から公募を開始していた冷蔵・冷凍庫エリアについて、最終的な提案がなかったため、公募を中止したとのことでした。そこで、入居事業者が決定していないワンストップ輸出エリアの一部とともに、公募条件の見直しを行い、9月下旬に新たな募集要項を公表し、冷蔵・冷凍庫エリアは12月下旬に、ワンストップ輸出エリアは令和2年1月に事業者を決定する予定とのことでした。

●その他

青果仲卸事業者の募集、集客施設棟事業者の募集について報告がありました。



市場の完成イメージ図



調整池築造工事

議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対

議案番号	件名 (件名は一部省略しています)	議決結果	政友クラブ										豪政会		リベラル		公明党		共産党		虹										
			小高	葛生	眞野	藤崎	伊達	鳥海	星野	神崎	雨宮	秋山	荒木	村嶋	石渡	宇都宮	鬼澤	飯島	小山	神崎	上田	大和	海保	伊藤	油田	一山	水上	大倉	荒川	鶴澤	会津
◆議案																															
1	教育委員会委員の任命(岡本秀彦)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	成田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
3	成田市手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	成田市立大栄幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	成田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	成田市国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
7	成田市印鑑条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	成田市豊住ふれあい健康館の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	成田市北羽鳥多目的広場の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	成田市公設地方卸売市場の設置及び業務に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	成田市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	成田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
13	成田市水道事業給水条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	雨水管渠築造工事(並木町大久保市道流末排水)請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	大谷津運動公園野球場改修工事(建築工事)請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	大谷津運動公園野球場スコアボード新設工事(電気設備工事)請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	市有財産の無償貸付(株式会社クローバーホーム)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	市有財産の処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
19	市道路線の廃止(十余三法華塚線)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
20	市道路線の認定(十余三小管線外10路線)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
21	平成30年度成田市一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
22	平成30年度成田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
23	平成30年度成田市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成30年度成田市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
25	平成30年度成田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
26	平成30年度成田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	平成30年度成田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
28	平成30年度成田市簡易水道事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	平成30年度成田市水道事業会計利益の処分及び決算の認定	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	令和元年度成田市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31	令和元年度成田市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	指定管理者の指定(印象体育館)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	令和元年度成田市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆発議案																															
1	令和元年台風第15号による被害に対する支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆請願																															
4	沖縄県民投票の結果を踏まえ、辺野古埋立て工事を中止し、沖縄県と誠意を持って協議を行うことを政府に求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
5	請願書等への代表者以外の押印を不要とすることを求める請願書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×

※議長(秋山 忍)は採決に加わりません。※会派名の略称は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、虹=虹と緑。

ここが知りたい！

一般質問

市政に関する一般質問は、9月3日から6日までの4日間行われ、19人の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

※一般質問とは議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。



総合的に子どもを支援する専門部署の設置を

1

問 子どもの貧困対策は、教育支援から住宅・福祉支援なども含み、親への支援から子どもへの支援、現金給付から現物給付など多岐にわたる。行政の縦割りを排除し、本人の立場に合った総合的な支援が必要であるため、庁内において窓口を一元化し、総合的な専門対策部署が必要と考えるが、市の見解を伺う。

構成された、子どもの貧困対策に係る連絡会議を設置している。現時点において、総合的に子どもを支援する部署を設置する予定はないが、今後もそれぞれの部署において相談窓口となり、連携することで、相談者に適した制度の案内を行うとともに、総合的な支援を行っていききたい。

星野慎太郎 議員



答 国および県において子どもの貧困対策の推進に関する法律や千葉県子どもの貧困対策推進計画が策定されたことを受け、成田市では、相談者それぞれの実情に合わせた市民サービスを横断的に提供できるよう関係部署で

その他の質問

- ◆子どもの貧困対策の推進に関する法律の改正について市の取り組みは
- ◆スクールソーシャルワーカー^(注4)の正規職員採用を
- ◆動物の環境・福祉問題についてボランティアとより一層の連携を

(注4)スクールソーシャルワーカー…児童生徒の問題に対し、保護者や教員と協力しながら問題の解決を図る専門職。

2 夏休みの児童ホームにおける弁当の提供を

問 奈良市では、平成30年の夏休みから全ての児童ホームにおいて弁当の提供を始めている。また、児童ホームは少子化対策として成立した次世代育成支援対策推進法に基づく、児童福祉法改正による子育て支援事業の1つに位置付けられている。この法改正に伴う子育て支援の観点から、成田市の児童ホームにおける弁当の提供の考えはないのか、市の見解を伺う。

かの自治体でさまざまな取り組みが行われているため、先進自治体の動向を注視し、調査を進めていきたいと考えている。

油田清 議員



答 児童ホームでの配食サービスの提供については、発注方法やアレルギー対応、学年ごとの摂取量の違い、利用料金の設定など多くの課題がある。奈良市をはじめ、すでにいくつ

その他の質問

- ◆会計年度任用職員への制度移行について
- ◆学校給食における食物アレルギー除去食提供の拡大を
- ◆学校勤務の非常勤職員の給食費問題について

3 多文化共生に向けた専属チームを



眞野義行 議員

問 現在は移民を認めていない日本だが、特定技能という新しい在留資格が加わったことにより、これまでの技能実習生の本人だけの問題ではなく、その家族、特に子ども達への計画的かつ組織的な取り組みは、避けられない重要な課題となる。成田市においても、毎年増え続ける外国人に対して、自治体主導の具体的な施策が必要だと思うが、各部署を超えた外国人との共生についての専属チームを結成する考えはあるのか、市の見解を伺う。

答 外国人との共生に係わる組織体制については、言語や文化、生活習慣を越えて共

生できる地域づくりのため、市政全般においての対応が必要だと考えている。国が示した外国人材への対応策を具現化していくために、多文化共生の指針の策定を計画している。策定に当たっては、庁内組織を立ち上げ、全庁的な連携体制で取り組んでいきたいと考えている。

その他の質問

- ◆多文化共生指針策定委員会に、外国人を加える考えは
- ◆外国人懇談会を開催する予定は
- ◆在住外国人の子ども達のための市立の日本語学校を設立する考えは

公立保育園の建物管理と大規模改修について

4

問 公立保育園において、築年数が古い保育園より先に、ニュータウン内にある保育園の大規模改修工事が行われているが、大規模改修に至る経緯を含め、基本となる管理の方針について、市の見解を伺う。

答 ほとんどの公立保育園は、昭和48年から50年代に開園するなど、建築後、相当の年月が経過し、老朽化が進んでいたため、計画的な大規模改修工事が必要であった。このような中、市の最重要課題である待機児童の解消に向けて、保育の受け皿を増やす必要があったため、築年数が古い保育園より先に、保育需要の多い

ニュータウン内の5カ所の保育園の大規模改修工事を実施した。また、保育園では、日ごろから保育課職員による点検を行うとともに、空調設備や機械設備などは専門業者による点検を実施しており、修繕が必要となる場合には、保育園を利用して児童が安心・安全に過ごせることを第一に考え、緊急性の高いものから対応し、大規模な修繕が見込まれる場合には、成田市総合計画NARITAみらいプランにおける実施計画により、優先度に応じた計画的な改修に努めている。

その他の質問

- ◆築年の古い保育園の中長期修繕計画は
- ◆保育園の建物管理体制と予算執行のルール



伊達孝紀 議員

5 ごみ減量へさらなる取り組みを

問 事業系ごみの減量については、一般市民向けに比べて協力要請がしにくいと考えるが、協力要請の方法とその成果について、市の見解を伺う。

答 ごみの総排出量の約4割を占める事業系ごみについては、平成26年度以降、ほぼ同水準で推移している。排出量が上位である200事業所に対しては、事業系一般廃棄物の減量化に関する計画書の提出を求めており、この計画に基づき当該事業所を直接訪問し、ごみの分別方法、排出方法などについて、現地を確認しながら意見交換をするとともに、優れた取り

組みなども紹介し、ごみの減量化と資源化が達成されるよう指導している。平成26年度以降の事業系ごみの排出量は、ほぼ横ばい状態にあり、事業所への協力要請に対する成果と捉えている。今後も継続的に事業所に対して働きかけを行うことにより、ごみの減量化および資源化につなげていきたい。

その他の質問

- ◆市道新薬石門前線の牛作地区にかかる部分について長期的視野での整備を
- ◆成人年齢が引き下げとなったが、成田市の成人式は20歳での開催を



石渡孝春 議員

6

固定価格買取制度の変更による影響は

海保茂喜 議員



問 再生可能エネルギーの固定価格買取制度については、買取費用やその一部を電気料金に転嫁する賦課金が増え続けており、再生可能エネルギーの急速な拡大によって消費者の負担増が深刻化している。再生可能エネルギーは、経済事業としてだけでなく、代替社会の実現に向けた地域づくりの道具として有効と考えるが、固定価格買取制度の変更による影響は。

答 成田市では、再生可能エネルギーの活用や温室効果ガス排出量の削減を図る取り組みとして、住宅用の太陽光発電システムを設置した市民への補助を実施している。また、燃料電

池コージェネレーションシステム、定置用リチウムイオン蓄電池なども補助対象として順次拡大している。近年の傾向は、太陽光発電システムと併せて蓄電池の設置が増えているため、引き続き再生可能エネルギーの活用はされていくものと考えている。今後も太陽光発電システムなどの住宅用省エネルギー設備の普及に努めていく。

その他の質問

- ◆間近に迫る夜間飛行制限の緩和、体制づくりの現状と課題は
- ◆航空機騒音と落下物、成田と羽田の共通課題を解決するためには
- ◆廃校施設を拠点とした地域づくりと遊休公共施設の有効活用の考えは

子どもの国保税均等割を廃止し子育て支援を

7

鵜澤治 議員



問 世帯人数が多いほど保険料が高くなる均等割が国保にだけあり、成田市の1人の課税額は年間2万6,800円なので、子供3人の場合の均等割合計額は、試算で年間8万400円にもなってしまう。高過ぎる国保税を軽減するために、同時に、子育て支援にも逆行することなので、何をあいても均等割を廃止することが相当ではないか。

答 国民健康保険税のうち均等割は、年齢にかかわらず加入者ごとに算定されていることから、子どもの多い世帯にとっては負担に感じる要因となっている。成田市が独自に子どもの均等割について減免制度を導入する場合には、そのための財源を他の加入者の保険税が加入者以外の市民からの税金に求めなければならない。子育て世帯の負担軽減を図るため、子どもに係る均等割を軽減する支援制度を国において創設すべきと考えており、引き続き全国市長会を通じて要望していく。

その他の質問

- ◆東海第2原発の再稼働中止で、いまこそ原発ゼロの日本を
- ◆10月からの飛行時間延長は、コース下住民の健康と生存権を奪うので中止を

市場の発展に向けた取り組みは

8

伊藤竹夫 議員



問 食品の流通が大きく変わってきているいま、卸売市場と生産者が連携することで、生産・加工・販売をシステム化し、また、特徴のある市場同士の連携など、今までに無い取り組みを行い、大きく変化していくことが求められている。市場の発展に向けた取り組みについて、市の見解を伺う。

答 食品流通の合理化と、その取引の適正化を図るため、平成30年6月に市場法が改正されたことを受け、成田市においても卸売業者および仲卸業者だけでなく、出荷者や売買参加者などの取引参加者の意見を踏まえた取引ルールを検討している。将来を見据えた食品流通の中で、市場がどのような機能を果たすべきか、また、市場の外の顧客である出荷者・飲食店やスーパーマーケットなどの小売店・消費者の満足度をどのように実現していくのかという観点も十分考慮しつつ、市場の発展に向けて検討を進めていく。

その他の質問

- ◆豚コレラについて、市の対応状況は
- ◆買い物弱者について、その認識と対策は

持続可能な開発 目標(SDGs^(注5))の 取り組みは

会津素子
議員



9

問 成田市環境保全率先実行計画では、CO₂排出量を2030年度までに2013年度比で16%削減するとしている。現在、吉倉地区に新たな都市開発構想が出ており、吉倉地区周辺まちづくり基本調査によると、人口は約6,500人で、新たな駅や医療産業施設を含めたまちづくりが計画されている。この構想により、ごみやCO₂の排出量がどの程度増えるのか。

答 吉倉地区周辺のまちづくりについては、現在、事業化に向けての準備段階であり、本年7月に1回目の地区説明会を開催し、新たなまちづくりに対する基本的な考え方を地域の方々に説明したところである。ごみやCO₂の排出量の見込みについては、地域の方々との対話を今後さらに重ねていき、具体的な事業区域や事業規模が決まった段階で、算定したいと考えている。



グローバル気候マーチ in NARITA

その他の質問

- ◆プラスチックごみの減量に向けて、リユース食器の推進を
- ◆より開かれた審議会・協議会を目指して、透明性のある会議録を

(注5) SDGs…持続可能な開発目標の略称であり、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた具体的な行動指針のこと。

市民が行政に 協力できる アプリの導入を

大和義己
議員



10

問 千葉市では、市民参加アプリを導入し、市民と行政のコミュニケーションツールを運用している。このアプリは、路灯の不点灯や公園の遊具の不具合、または災害時における被害状況など、市民が位置情報や現場の状況などを市役所に送信することができるのと同時に、若い世代が行政に関心を高める効果も期待できると思うが、アプリの導入について、市の見解を伺う。

答 市民参加アプリは、公共施設の不具合など対象を限定し、迅速な対応が可能な場合は一定の効果があるが、公共施設の改修など、各種要望の場合は、地域の総意に基づき、区・自治会を通じて要望をいただく必要がある。地域の皆様からのニーズに適切に対応するため、担当課への直接の連絡、区・自治会を通じた手続き、市長への手紙や電子メールの有効活用など、場面や状況に適した方法を案内し、対処していくため、現時点では市民参加アプリの導入の考えはないが、他市の状況を注視しながら研究していく。

その他の質問

- ◆教職員の働き方改革の実施状況は
- ◆小中学校学納金の集金の取り扱いは
- ◆小中学校におけるICT機器などの整備は

11 平和の塔を活用した平和の式典の開催を

大倉富重雄
議員



問 令和になって初めて迎えた終戦の日、戦没者を追悼する催しが千葉県内の各地で開催された。成田市においてもさまざまな取り組みをしているが、さらに市民と協働して平和施策を推進していくため、市役所前に設置されている平和の塔などを活用した平和の式典を開催してはどうか。

答 成田市における平和施策の取り組みとしては、昭和33年に世界連邦平和都市を宣言し、原爆投下50年目に当たる平成7年には、非核平和都市を宣言した。また、市内各中学校の代表生徒による成田市折り鶴平和使節団

を広島や長崎へ派遣している。提案された市役所前に設置されている平和の塔などの活用については、派遣事業の出発式などで、その活用が可能かどうか検討していく。



市役所前に設置されている平和の塔

その他の質問

- ◆指定管理者制度導入の是非の総検証を
- ◆立地適正化計画と地域公共交通網形成計画
- ◆災害協定の締結および災害対応型自動販売機の設置を

12 地域公共交通に積極的な市民参加を

荒川さくら
議員



問 バスやオンデマンド交通などについて、市民から改善を求める声が多く寄せられている。成田市では、利用者減少などにより路線バスの廃止や減便が続いているが、バスがなくなると、高齢者や学生など車を持たない人の移動の自由は保障されないことになる。こういったことを防ぐため、解決策を考え決定する過程に、住民参加を地域ごとに進めていく必要があると考える。住民が参加することにより、地域のニーズが的確に把握できるだけでなく、地域の公共交通を守るために住民と一緒に考えることができ、利用者を増やし、地域の公共交通を守ることに繋がると考えるが、市の見解は。

答 平成30年度は市民アンケートやコミュニティバスの利用者アンケートを実施し、本市の公共交通の利用状況や市民の意識などの把握に努めてきたところである。今後、計画の骨子案の段階から住民説明会の開催やパブリックコメントを実施し、本市にとって、望ましい公共交通となるよう計画の策定を進めていく。

その他の質問

- ◆高齢者のバス運賃などへの助成を
- ◆お金の心配なく学べるよう、市独自の奨学金制度を
- ◆「体験」も内容に加えた、子どもの生活実態調査の実施を

スズメバチ等の駆除対策を

13

問 現在、成田市では、スズメバチの巣の駆除費用の一部補助を行っており、近隣自治体と比べても補助額の上限率は高いが、独居高齢者や高齢者世帯、低所得者世帯に向けた制度の変更について検討しているのか。

ることから、高齢者及び低所得者世帯への補助率については現状どおりとしたいと考えている。

答 成田市では、スズメバチの脅威を取り除き市民生活の安全を確保することを目的に、スズメバチに限定し、その巣を駆除するために要した費用の2分1以内を上限として5万円を限度に補助を行っている。現行制度では、生活保護を受けられている方などで必要と認めるものは、駆除に要した費用の全額を補助してい



一山貴志
議員

その他の質問

- ◆情報発信の現状について
- ◆SNS活用の取り組みについて
- ◆熱中症対策について

14 電子地域通貨(仮称)成田コイン創設の提案

鳥海直樹
議員



問 木更津市では、平成30年10月より電子地域通貨コイン「アクアコイン」が導入されている。成田市においても、キャッシュレス化を推進していくため、(仮称)成田コインの導入について、市の見解を伺う。

動向を注視し、地元経済団体と連携して取り組んでいく。

答 木更津市内限定の「アクアコイン」は地域内での消費をすることで、経済循環を促進することを目的に創設されている。キャッシュレス決済の方法としては、クレジットカードやスマートフォン決済など多様な決済手段があり、この中から地域の実情に合わせた取り組みが必要であると考え。今後、国や他自治体の



その他の質問

- ◆キャッシュレス決済に対するポイント還元
- ◆東小学校跡地に整備するパークゴルフ場の概要は
- ◆市道松崎場下湯川線の工事進捗は

15 自主防災組織の結成促進に向けた支援の見直しを

小高夕佳議員



問 市内において、平成8年から自主防災組織が結成されるようになったが、20年以上経過した現在でもその結成率は45%である。現在結成されている自主防災組織に対して、活動内容や活動する上での課題等を調査することは、さらなる結成率の向上、自主防災組織への継続的な支援につながると思うが、自主防災組織へニーズ調査を実施する考えはないのか、市の見解を伺う。

答 これまでの過去の災害においても、自主防災組織の重要性は認識している。本市では、毎年実施している自主防災組織リーダー

研修会の際にアンケートを行っているが、地域における防災力を向上させるためにも、自主防災組織の活性化につながる調査について、今後検討していきたい。



その他の質問

- ◆生活支援コーディネーターの配置状況
- ◆地域性を考慮した指定緊急避難所の指定を
- ◆女性の視点を取り入れた防災の取り組みを

東小学校跡地利活用で防災機能の充実を

16

鬼澤雅弘議員



問 東小学校跡地利活用に係る地元協議会で多くの意見が出ている防災設備の完備について、旧東小学校は地理的にも成田市の中央付近に位置していることから、災害時の対応、防災設備や防災機能の充実が必要だと考える。地元住民から防災機能を充実してほしいという要望があるが、具体的な計画について市の見解を伺う。

事前の備えが重要となることから、指定避難所としての機能および防災機能の充実に向けて、地域の方々と引き続き協議を進めていく。



日本一の樹形といわれる遠山桜

答 防災機能の充実として、食糧や飲料水等を備蓄する防災備蓄倉庫、災害時においても水の確保ができる給水設備、避難所における安否情報の確認などに効果を発揮するWi-Fi環境などの整備について検討していく。災害に対し

その他の質問

- ◆日本一の樹形ともいわれる樹齢約80年の遠山桜の管理体制は
- ◆東小学校跡地利活用としてのパークゴルフ場の整備計画について
- ◆成田空港のさらなる機能強化と今後の騒音地域で進められなければならない対策は

17 団体運営費補助金の不正受給の対策は

雨宮真吾議員



問 成田市は、団体運営費補助金の見直しのための方針および基準を策定しているが、今回再び補助金の不正受給が発覚した。このような団体運営費補助金の不正受給が発生する事態は、補助金を交付することにより市の公益目的を達成するという意義が失われていると考えるが、今後どのような対策を講じるのか、市の見解を伺う。

元年度以降の補助金について、領収証などの支出を確認できる書類の写しの提出を求めるほか、実地調査を行うなど、審査を厳格化することにより、補助金の不正受給を根絶していく。

答 団体運営費補助金の交付については、団体の公益性のある自主的な活動を促進する趣旨があるため、各団体においても適正な会計処理と監査を行うことを依頼する。また、令和

その他の質問

- ◆子どもたちへの胃がん予防支援政策の展開は
- ◆団体運営費補助金の効果を検証し、縮減または廃止の方針は
- ◆補助金をチェックする第三者機関の設置を

18 豪雨対策の取り組みは

問 平成31年3月に避難勧告等に関するガイドラインが改定され、住民がとるべき行動を直感的に理解しやすいように、防災情報を5段階の警戒レベルにより提供することになったが、市民への周知はどのように行われるのか。また、区や自治会、消防団等の関係団体との連携の取り組みについても伺う。

でいる。また、関係団体との連携については、地域の地理や特性に精通している区・自治会や消防団等と自主防災組織との連携を図ることは重要であると考えているため、関係団体における態勢構築に向けた連携に努め、地域防災力の向上に取り組んでいく。



答 成田市では、気象庁の本格的な運用開始前の5月から周知活動を始めており、広報なりたや市のホームページ等において警戒レベルについての周知を実施するとともに、防災講話等の機会を通じて市民への周知に取り組ん

その他の質問

- ◆電気自動車の普及に向けた取り組みは
- ◆公共施設に電気自動車の充電設備の設置を

飯島照明 議員



成田に飛んできたいと思う魅力ある空港都市を

19

問 令和2年3月の夏ダイヤから羽田空港の国際線増枠により、北米路線をはじめ重要路線の成田から羽田へのシフトが決定した。この状況下において、成田の強みである周辺の広大な土地を活用して、大規模な自由貿易地域の整備を国に対して再度提案すべきである。そのための土地利用規制の緩和もあわせて国と交渉することが、成田の魅力向上のための重要施策であり、日本経済全体への波及効果も大きいと考えるが、市の見解を伺う。

だが、実現に至らなかった。しかし、成田空港のさらなる機能強化や圏央道の整備などに伴い、物流事業者の進出が期待される中、国際物流拠点の整備は、成田空港を積極的に活用したまちづくりの推進と地域振興策の一つとして有効であるため、空港および空港周辺の機能強化についての取り組みを続けていきたい。

答 平成25年9月にエアポート都市構想において、成田空港とその周辺のさらなる整備を進めて国際物流拠点とする提案を国に行っ

その他の質問

- ◆立地適正化計画に基づく成田ニュータウンの再生事業に具体的に着手を
- ◆在住外国人との共生に向けての「成田市多文化共生指針」の早期制定を
- ◆国家戦略特区成田を担う人材の育成のため国への研修や空港会社等との人事交流を

宇都宮高明 議員



議員研修を開催

成田市議会議員団では、議員の資質向上と議員活動の向上を目指し、研修会を行っています。

8月28日には、「地方議会・議員に求められる役割と機能発揮の在り方」をテーマに、元全国都道府県議会議長会事務局次長 鵜沼 信二氏を迎えて開催しました。



中学生議会を開催

8月20日に中学生議会が開催されました。中学生に市議会について体験的に学んでもらうことで、市政への関心を深めてもらうことを目的としています。市内中学校11校から代表24名が出席し、模擬議長選挙の実施や市政について、さまざまな質問や意見が出されました。



議会基本条例 に基づく 取り組み

今回は、「議会基本条例」をフォーカスします・・・と言っても、そもそも議会基本条例とは？という方が多いと思います。まず、議会基本条例とは、平成18年に北海道栗山町議会が全国で初めて制定した、議会の在り方を市民の皆さんに宣言する議会の「最高規範」といえるものです。その後、全国の地方議会においても制定されるようになり、成田市議会では、平成26年12月に制定、平成27年4月より施行されています。

そこで、成田市議会における議会基本条例に基づく取り組みについて説明します！

これまでの取り組み

議会改革の推進

正副議長の立候補制の導入

立候補者は、本会議の休憩中に議場で所信表明演説を行います。
この様子は、議会中継(ライブ)で配信しています。

請願者・陳情者の意見陳述

請願・陳情が委員会に付託または回付される場合、提出した請願書などの内容を陳述する機会を設けています。



市民に開かれた議会

議会報告会の開催

平成27年度から開催しており、議会で行われた審議の経過や結果を参加された市民の皆さんに報告するとともに、意見交換を行っています。

高校生との意見交換会の開催

18歳に選挙権が引き下げられたことをきっかけに、平成28年度から開催しており、市内の高校生に市議会に関心を持ってもらうとともに、高校生の意見を聴く機会として開催しています。



これからの取り組み

議会基本条例の検証

条例施行から3年が経過した平成30年に議会基本条例の検証を行い、今後の課題や方策を協議しました。

検証後は、「議員間の自由討議」「議員の政治倫理」「議会図書室の活用」などについて、議会運営委員会を中心に協議しています。

現在は、議員の政治倫理条例の制定に向けて、議会運営委員会において活発な議論を交わしています。



初の議場開催 議会報告会を開催します

成田市議会では、議会の活性化と市民に開かれた実現のため、議会報告会を開催いたします。この報告会では、定例会における審議の内容や過程の説明のほか、参加者との意見交換などを予定しています。

開催日	時間	会場	意見交換のテーマ
令和元年 11月8日(金)	午前10時～正午	成田市役所 議会棟3階 議場および委員会室	子育てについて
	午後6時30分 ～午後8時30分		防災について



昨年の議会報告会

議会中継

パソコン・スマートフォン・タブレットで本会議・委員会を視聴！インターネットで生中継・録画中継(本会議のみ)

「みんなのなりた」はパソコンやスマートフォンでもご覧いただけます

電子ブックで読む

成田市議会のホームページでバックナンバーを公開しています。電子ブック版とPDF版がありますので、パソコンやスマートフォンでご覧ください。

<https://www.city.narita.chiba.jp/gikai/index0413.html>



議会だより
QRコード

アプリ「マチイロ」で読む

スマートフォンアプリ「マチイロ」で登録をいただくと発行日に通知が来ますので、読み忘れることがなくなります。登録はこちらのQRコードからお願いします。



マチイロ
QRコード



コーヒータイム



4月の成田市議会議員選挙の投票率は45.44%と、4年前の48.41%より3ポイントも低下しました。背景には「政治」への不信感、諦め、無関心などがあり、生活の一番近いところにあるはずの「政治」が、遠く感じる現状があるのではないかと思います。議会は、審議内容などを積極的に発信すると同時に多くのみなさんに議会活動や市政に参加していただき、より議会を身近に感じていただく必要があります。「どうしたら参加しやすいのか」を議論しながら取り組んでいきたいと思っています。

11月8日の議会報告会では、みなさんとお会いし、市政や市議会のことについて、お話しできることを楽しみにしています。ぜひご参加ください。

広報広聴副委員長 荒川 さくら

12月定例会は、**11月29日(金)** 開会予定です。

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760
TEL 0476 (20) 1570
FAX 0476 (24) 0336

